

平成27年度 第1回 高砂市環境基本計画策定協議会 会議記録

|      |  |
|------|--|
| 開催日時 | 平成27年8月19日（水）午後2時00分開会～午後4時04分閉会   |
| 開催場所 | 高砂市文化保健センター3階 会議室1   |
| 出席者  | 武田委員、上甫木委員、岩本委員、河合委員、松田委員、唐津委員、野々村委員、藤井委員、松本委員、小林委員（以上10名）   |
| 欠席者  | なし   |
| 議題   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 委嘱式</li> <li>2 委員自己紹介</li> <li>3 会長、副会長の選出について</li> <li>4 会議の公開について</li> <li>5 環境基本計画の策定について（説明） <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）環境基本計画策定事業</li> <li>（2）高砂市環境基本計画の位置付け、総合計画との関連</li> <li>（3）第2次高砂市環境基本計画の対象範囲 <ol style="list-style-type: none"> <li>①生活環境（典型7公害、美化、緑化）</li> <li>②自然環境（山、川、池など）</li> <li>③地球環境</li> <li>④環境教育</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>6 第2次環境基本計画に加えるべき表現・キーワードについて（川西市環境基本計画概要版を参考に）</li> <li>7 市民意識調査について（説明）</li> </ol> |
| 資料   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○高砂市環境基本計画策定協議会（第1回）次第</li> <li>○資料1 高砂市環境基本計画策定協議会委嘱委員名簿</li> <li>○資料2 高砂市環境基本計画策定協議会設置要綱</li> <li>○資料3 高砂市環境基本計画策定協議会の会議の公開に関する要綱</li> <li>○資料4-1 高砂市環境基本計画策定事業</li> <li>○資料4-2 高砂市環境基本計画策定業務スケジュール</li> <li>○資料5 第4次高砂市総合計画 概要版</li> <li>○追加資料 高砂市環境基本計画策定に関するアンケート調査実施概要（案）</li> <li>○追加資料 調査票（市民用）</li> <li>○追加資料 調査票（事業所用）</li> </ul>   |

| 議 事 の 経 過       |   |
|-----------------|---|
| 発 言 者           | 発 言 の 要 旨   |
| 事務局             | (開会)<br>○開会あいさつ<br>○資料確認<br>それでは、お手元に配布している次第にそって議事を進めたいと思う。<br>まずは副市長よりごあいさつ申し上げたい。          |
| 副市長             | ○あいさつ   |
| 1 委嘱式           |   |
| 事務局             | 本来であれば、委員お一人お一人に委嘱状をお渡しするべきところではあるが、時間の都合上、代表して一名の方に委嘱状をお渡しする。<br><br>○副市長より委嘱状の交付（委員代表 岩本委員） |
| 事務局             | 他の委員の皆様には、お手元に既に委嘱状をお配りしているので、ご確認願いたい。<br>それでは、議題2に移りたい。                                      |
| 2 委員自己紹介        |   |
| 事務局             | お手元に配布している資料1の順番に、簡単に自己紹介をお願いしたい。   |
| 各委員             | ○自己紹介   |
| 事務局             | ○自己紹介   |
| 事務局             | 議事進行中ではあるが、副市長は他の公務のためここで退席させていただきたい。【副市長退席】  |
| 3 会長、副会長の選出について |   |
|                 |   |

| 議 事 の 経 過       |  |
|-----------------|--|
| 発 言 者           | 発 言 の 要 旨  |
| 事務局             | ○会長、副会長の選出方法について、資料2に基づき説明<br>どなたか会長にふさわしい方を決めていただきたいと思います。  |
| 委員              | 事務局で考えられている方がいるのではないかと。  |
| 事務局             | では事務局案を紹介させていただきます。高砂市環境審議会でも会長をして<br>くださっている武田委員に会長をお願いしたいと思うが、皆様いかがか。<br>よければ拍手願いたい。<br><br>(委員一同拍手をもって賛同) |
| 事務局             | それでは、武田委員に会長をお願いしたい。<br>これからの議事進行は武田会長をお願いしたい。   |
| 会長              | 次に副会長ですが、副会長には、環境基本計画に携わっておられる上甫木<br>委員をお願いしたい。それでは早速、議事を進めたい。   |
| 4 会議の公開について     |  |
| 会長              | 高砂市審議会等の会議公開に関する指針には、会議を公開することで開か<br>れた市政の推進を目的としており、この環境基本計画策定協議会において<br>も、この趣旨から公開したいと思う。<br>本日の傍聴希望者は。    |
| 事務局             | 本日、傍聴希望者はいない。  |
| 5 環境基本計画の策定について |  |
| (1) 環境基本計画策定事業  |  |
| 会長              | それでは、議題5(1)について事務局より説明願いたい。  |
| 事務局             | ○資料4-1、資料4-2を説明  |
| 会長              | (1)から(3)まで全部の説明ではなく、(1)だけか。  |

| 議 事 の 経 過 |   |
|-----------|---|
| 発 言 者     | 発 言 の 要 旨   |
| 事務局       | そうである。  |
| 会長        | これについて何かご質問、ご意見等はあるか。   |
| 委員        | <p>策定期間の話があったが、事務局と同じ意見である。20年間放っていたなんて、とんでもない感じを受けた。それを10年にされるとのことだが、本当は5年だと思う。10年先の予測はできないと思う。ただ、行政が行うので予算や人員の配置など、市民に受け入れられるものをしなければならないといった、民間企業とは違う制約がある。国・県の計画との整合性もある。そういうことを考えて、10年とされたと思う。市も恐らく5年が妥当だと思っておられると思う。10年で仕方がないとしても、中味は5年ぐらいを想定してするのが妥当だと思う。</p> <p>先日、環境基本計画の審議会を傍聴した。「人と自然が共存し活気とやすらぎのあるまち 高砂」というタイトルを、別のところで仲間に見せて議論をした。20年前にできたことを知らない人が、20年前のタイトルみたいだと言った。陳腐化しているということである。本当はタイトル自体も抜本的に見直したほうが良いと思う。ただ、行政の継続性等色々あると思うが。</p> |
| 会長        | 期間については、上位計画との関係もあるので、なかなかこれだけ変えるというのもできないと思う。  |
| 委員        | 他市では5年で見直しというところもある。  |
| 副会長       | 他市の環境基本計画でも、だいたい10年間で計画して5年で中間見直しをかけるところが多い。  |
| 事務局       | 他の基本計画もそうだが、社会情勢の変化等もあるので、3または5年で必ず見直しをかけている。環境基本計画もそのようにしたいと考えている。   |
| 委員        | 国ではこういう計画を策定するときは、筋道ができています。地方に任せて、最後の結論はだいたい分かっている。そういうところで、我々がどこまでタッチできるのかと言えば、難しい。それぞれの立場から物を言うこと、事業者の立場で、生活者の立場で、主婦の立場で積極的に発言していかなければならない。最後のこうあるべきということが見えてしまっていると、大変である。高砂市の環境は今すごく変わろうとしている。この中から厳しい   |

| 議 事 の 経 過 |  |
|-----------|--|
| 発 言 者     | 発 言 の 要 旨  |
|           | <p>意見も含めて出てこないという意味がないと思っている。今何をするのかが一番基本にあると思う。</p> <p>それと、すぐに2,000万人単位で人口が減っていく。そういう中で、10年後、20年後に対する計画は陳腐化して当たり前である。私たちが現場を見てもっとデータを知り、改善策を提案していかないと、策定なんて難しい。地球温暖化につかうべきではないCO<sub>2</sub>を毎日どんどんつかい、出している。皆さんの家庭にあるエコキュートの冷媒は、炭酸ガスだが、国はそれを炭酸ガスとは言わない。だけど現実には、高砂からたくさんCO<sub>2</sub>を出していることになる。それぞれの立場でもっと調べて特異な意見が出てもいいのではないかと思う。</p> |
| 会長        | <p>国は日本全体の話で、それぞれの地域には地域の色々な問題がある。やはり高砂は高砂の問題を取り上げていかないと、ちゃんとした環境基本計画にはならないと思う。</p>  |
| 委員        | <p>この問題は色々含んでいるが、ごみの減量化も一分野あるのかもしれない。ごみの減量は、この計画では扱わないのか。</p>  |
| 事務局       | <p>ごみの減量化は、基本計画がまた別にある。</p>  |
| 委員        | <p>岡山大学の先生が来られて減量化の会議が進められていて、私もその会議に入っていた。今回、市長がまちを回られて、人間と自然は同じレベルではないのに共存するというのではなく、人が高砂市に住みたいと思えるように、どういうまちづくりにするのかということを経験として提案された。人が住みやすい、つまり、高砂市から転出した方はたくさんいるが、逆に入ってきた人が高砂市から出たくないというまちづくりをしようということと、そのあたりが上手くマッチングしないのではないか。</p>  |
| 会長        | <p>マッチングするように持っていかないと。</p>   |
| 事務局       | <p>今おっしゃられたのは、地方創生の地域戦略の関係で、ちょうど今高砂市が取り組んでいるものであると思う。それが9月頃にできあがる予定で、この環境基本計画より先にできあがる。それも参照し、今言われたように環境問題に関しても、高砂市に住み続けたいと言われるような基本計画にしていきたい。整合性が持てるような形でもっていければと考えている。</p>   |

| 議 事 の 経 過 |   |
|-----------|---|
| 発 言 者     | 発 言 の 要 旨   |
| 委員        | 海を守るために、山を守らないと海は守れないという言葉もある。色々な違う考え方をこの場を出して、大事なところから順番に決めていくという形を取ったほうがいいのではないか。   |
| 副会長       | 今のご発言でいくと、資料4-1の2番目の「改定理由」ではないのかもしれないが、戦略計画との整合性を図るということもここへ入れ込んで、関係性をきちんとみていくとしてはどうか。環境基本計画の役割もある程度限定的にはなると思うが、全体を見ながらでないといけないので。それをここへ入れていただいたほうがいいのではないか。それは私も最初にした。   |
| 事務局       | 平成9年以降この20年間に、色々な基本計画が他にできあがっている。歴史文化基本計画、ごみの減量化、地方創生総合戦略等、そういった計画と、この環境基本計画が全然違う方向ではどうかというところもある。そのあたりの整合性も考えながら、皆さんにお知らせしながら進めていく必要があると思う。  |
| 会長        | ごみの減量化や歴史文化基本計画は、環境基本計画と同列の扱いなのか。   |
| 事務局       | ごみの減量化は環境問題でもあるので、環境基本計画にぶら下がるような関連した計画になるかと思う。環境基本計画では、ごみ減量は必要な項目なので言葉としては謳うが、細かい内容はごみ減量化の計画での表現になると思う。歴史文化構想は、20年前にはなかった。歴史文化の分野は、環境基本計画では扱わず、今回は分けた方が分かり易い環境基本計画になるかと考えている。歴史文化構想は総合計画の下、環境基本計画と同列の計画として扱いたい。県も国も環境基本計画では歴史文化は入っていないので、外したいと考えている。 |
| 会長        | 基本計画にどれぐらい書き込むかとなると、下位計画があるなら理念だけで済むが、ないとすればかなり細かく書いていかないといけない。下位計画があるのなら、上位の環境基本計画ではそんなに細かく書く必要はないと思う。生物多様性戦略を策定するかどうかにあっても、表現は変わってくることになると思うが、そのあたりはどうか。他に下位計画を策定することはあるのか。   |

| 議 事 の 経 過 |  |
|-----------|--|
| 発 言 者     | 発 言 の 要 旨  |
| 事務局       | 基本計画があって、実行計画を作るかどうかということだと思うが、現状ではそれは考えていない。この基本計画にそって進めていきたい。  |
| 会長        | でも実行計画がないと、進まないのではないか。   |
| 事務局       | 基本計画にそって実行していくというような形である。  |
| 会長        | では、この基本計画にかなり細かいことを書いておかないと。   |
| 事務局       | 前回はそうだったので、そのような形で考えていたが、もし策定していく中で、基本計画をもっと大きく物事を捉えたものにして、別に実行計画をつくって実行していくべきということであれば、そちらにシフトしていてもいいと思う。 |
| 委員        | つまり、この計画には、具体的な数字は一切出てこないということか。   |
| 事務局       | 計画全体の流れがそうだが、ポイント、ポイントで指標という形で、「何%削減します」とか「〇〇を〇〇という数字にします」等、主な指標は作らなければいけないと考えています。                        |
| 委員        | そういうものは今回の基本計画には出てくるということか。  |
| 事務局       | 細かいところは来年度に提案したいと考えている。  |
| 委員        | それに従って各部署でもっと具体的な案があがってくるということか。   |
| 事務局       | 例えば、ごみ減量化では、一体、一人あたり何グラムということが指標として出せそうなのかを持ち帰り、またご報告させていただきたい。  |
| 委員        | ということは、この段階では「ごみを減らしましょう」という文言になって、下に載せていくという形になるのか。   |
| 事務局       | そうである。   |
| 委員        | 私が勤めていた時は、常に具体的な目標と数値をあげろと。それに対して  |

| 議 事 の 経 過 |  |
|-----------|--|
| 発 言 者     | 発 言 の 要 旨  |
| 事務局       | <p>年度末にはどういう実績があがっているかをまとめて報告し、それに従って評価・判断をしていた。今回の計画は10年計画だが、例えば2～3年ぐらいで計画がどれだけ進んでいるのか、停滞しているのか、後退しているか等の見直しのポイントは持たれるのか。</p> <p>データでその年度の指標があり、各課から毎年度どれだけ達成したか報告し、公表したいと思う。それを5年間スパンで見直すという形で考えている。</p>   |
| 委員        | <p>ということは、大元の基本計画は動かざるものとして10年間あるのか。それとも、2～3年間毎に見直しされて動いていくものなのか。</p>  |
| 事務局       | <p>指標の見直しは当然かける。その中で目標を達成しているものは、もっとできるのではないかという指標になるかもしれない。毎年報告をいただく中で、PDCAサイクルの中で判断していく。</p>   |
| 委員        | <p>でないと、キラキラした美しい言葉ばかりが並んでも。</p>   |
| 事務局       | <p>理念だけの構想であってはいけない。</p>   |
| 委員        | <p>計画のための計画ではいけない。</p>   |
| 事務局       | <p>理念の次に重点施策という形で、その中に目標があり、目標の下に指標となる。</p>  |
| 副会長       | <p>スケジュール表に「指標案」という言葉と「進行管理方法」と書いてある。これらはものすごく大事なことだと思う。決めてしまうと、すごく大変な部分も発生すると思う。今は文言で目標をあげているが、具体的に例えば200何年に何%削減を目標にしましょうと言うと、毎年、毎年結果を見てチェックしていくということになる。今の事務局の体制で毎年数値をチェックして、その評価を環境審議会等でチェックをして評価していくのがPDCAで回していくということだが、他の自治体ではそれをしているところがあるが、多分事務局はすごく大変な事態に陥る。それを毎年するのか、経過を見ながら中間見直しで大きくするのか。進行管理の方法をもっとこの中で議論して、具体的なイメージを持ちながらやっていかないといけない。いずれにしても、今の段階は具体的な数字をあげて、それを達成するということを指</p> |



| 議 事 の 経 過 |  |
|-----------|--|
| 発 言 者     | 発 言 の 要 旨  |
|           | 標として持つておこうということだと思う。   |
| 事務局       | 環境基本計画を策定した後は、毎年度評価する必要があると考えている。  |
| 会長        | 西宮市は、毎年進行管理をやっている。   |
| 副会長       | 豊中市では、5つぐらい大きな数値目標があり、関連目標を全部入れている。前の年の結果が毎年秋ぐらいに報告されて、それに基づいて環境審議会や市民の意見を踏まえて、2～3月ぐらいに報告書を作成する。それを毎年、毎年繰り返しているので、事務局としてはすごく大変な作業である。事務局だけではできなくて、庁内の関連部局のデータを吸い上げるシステムを上手くしないと、大変になる。 |
| 事務局       | 総合計画でもそういうシステムで、毎年現状の把握をしている。  |
| 会長        | 西宮市の場合は I S O 14000 を取得していたのをやめて、その代わりに外部で別の委員会を立ち上げて、そこでチェックする方法を取っている。   |
| 事務局       | 高砂市も以前は I S O 14000 を取っていたが、それをやめて自己チェックする形を取っている。   |
| 会長        | 西宮市は、外部の委員会が各部署に直接聞き取りをしている。毎年3～4部局を回ってチェックをするというようなやり方である。そうすると、結構進行管理ができる。   |
| 委員        | 小林委員に聞きたい。生ごみを肥料化すると、ごみは減るのか。  |
| 委員        | ももとの生ごみと比較して、ものすごく減る。具体的な数字は忘れてしまったが、40kg という大量だった生ごみも、細菌の働きでほんの少しの量になる。   |
| 委員        | スペース的なこともあると思うが、生ごみの堆肥化を個々にすることはできないものか。生ごみの再利用として。  |
| 事務局       | 美化センターで補助をしている。  |

| 議 事 の 経 過 |   |
|-----------|---|
| 発 言 者     | 発 言 の 要 旨   |
| 委員        | それを定期的に市民の方に協力してもらって、市の事業としてでもできないものか。  |
| 委員        | まちのほうではやり難いと思う。臭いがするので、田舎のほうならいいが。大きなコンポストにためていくとすぐなくなる。でも臭いがすごいんです。まちではなかなか・・・。                                      |
| 会長        | 個別の案件については、後ほど議論したい。策定指標に関するご意見があれば、お願いしたい。   |
| 副会長       | 市民の皆さんをどう計画の中に位置付けていくかが、すごく大切である。環境学習が大事だと皆さんおっしゃっているが、高砂市は分からないが、環境に関する市民活動を行っている団体は結構あると思う。そういうネットワーク会議みたいなものはあるのか。 |
| 事務局       | それが高砂市の弱いところである。個人でされている方はたくさんおられると思うが、組織だってそういう活動をしているグループは把握できていない。   |
| 副会長       | 環境基本計画に基づいて行動する企業・学校・市民が両輪にならないと、上手くいかないと思う。市民団体や企業・学校で環境問題に取り組むところを、市の行動計画の母体としてつくることができれば、両輪で上手くいくと思う。              |
| 事務局       | おっしゃる通りで、できればそういう団体があれば是非この会議に入っていたきたかった。   |
| 副会長       | 環境基本計画とそれを実施する団体があれば、今回位置付けるという話もある。実行隊として入っていただくことができればと思う。  |
| 会長        | 参画と協働という話をすると、どういう団体があるのかということは把握していないと。  |
| 副会長       | そういう芽がもし出ていれば、そういう人達をこのチャンスに引き込むと   |

| 議 事 の 経 過                   |  |
|-----------------------------|--|
| 発 言 者                       | 発 言 の 要 旨  |
| 会長                          | <p>言うか、そういうことも大切だと思う。</p> <p>ずっと同じような話が続くと思うが、とりあえず議事を進めないといけない。(2)について、事務局より説明願いたい。</p>   |
| (2) 高砂市環境基本計画の位置付け、総合計画との関連 |  |
| 事務局                         | ○資料5を説明  |
| 会長                          | <p>いかがか。</p> <p>この前の審議会でも言ったが、不満なのは総合計画に「自然と共生」と書いてあるにも関わらず、自然環境についてはあまり書かれていない。</p>   |
| 事務局                         | <p>一昨日の審議会でもその意見が出た。確かに総合計画の中で自然環境については特に謳われてないが、県の環境基本計画では大きな柱として入れている。国の環境基本計画でも「自然共生社会」という言葉が出てきている。総合計画に明確に「自然環境」が入っていないからといって、無視できないと考えている。分野として自然環境は設定すべきと考えている。</p> |
| 委員                          | 高砂市で自然環境と言った場合、具体的にどこになるのか。  |
| 会長                          | 山、ため池、田んぼ、川がある。もちろん人工的な人の手は入っているが。   |
| 委員                          | 公園は違うのか。ため池は人工でも自然なのか。   |
| 会長                          | 人工でできたものでも、その中にすんでいる生物がいる。   |
| 委員                          | ため池で増えているアカミミガメが問題になっている。早く駆除しないと、自然が全部破壊されてしまう。   |
| 会長                          | そういう問題も結構ある。今の位置付けについては、特段問題はないか。  |
| 副会長                         | 総合計画の下に環境基本計画を位置付けるという構造になっているのか。審議会のほうで、環境保全による共生と循環のところを担う形でやりましようということになったのか。   |

| 議 事 の 経 過   |  |
|---|--|
| 発 言 者   | 発 言 の 要 旨  |
| 事務局   | そうである。   |
| 副会長   | ただ、環境学習などは、環境基本計画を支える環境学習として考えていくということか。   |
| 事務局   | そうである。皆さんおっしゃっていただいた通り、教育は学校だけではなくて、大切な環境を保つ、次に引き継ぐためには環境教育、学習は欠かせないと思う。4番目の柱のひとつとして考えている。   |
| 委員  | ①生活環境、②自然環境、③地球環境、④環境教育の順番は、優先順位という意味か。  |
| 事務局   | 優先順位ではない。たまたまの番号である。   |
| 委員  | 自然環境は防災との絡みがある。市役所の建て替え等の問題も含めて、川を埋め立てた真ん中に建っている。何か皆で考え直すきっかけにしないといけない。自然環境の保護なり何なり、もう少し焦点をどこかに合わせてくれと誰かが言わない限り、合わない。多岐にわたりすぎていて、とても難しい。 |
| 会長  | 環境は全般に関わってくる。<br>(2)については、それほど問題はないと思う。  |
| (3) 第2次高砂市環境基本計画の対象範囲<br>①生活環境 (典型7公害、美化、緑化)<br>②自然環境 (山、川、池など)<br>③地球環境<br>④環境教育 |  |
| 会長  | (3)は4つ挙がっているが、これでいいのかどうか。だいたい網羅していると思う。  |
| 委員  | 典型7公害というのが、勉強不足で分からない。   |
| 事務局   | 専門用語に近いもので申し訳ない。具体的に言うと、大気汚染、水質汚染  |

| 議 事 の 経 過 |   |
|-----------|---|
| 発 言 者     | 発 言 の 要 旨   |
| 委員        | <p>(川や海)、土壌汚染、騒音、振動（新幹線や自動車）、地盤沈下、悪臭である。約 40 年前に高砂市が苦勞して改善を重ねてきた分野である。この分野は、環境を語る上で外せないところだと考えている。</p> <p>そういうところを含め、私たちが見たことない場所、見せたくない場所があると思う。そういうところの見学会をするところから始めて欲しい。そうでないと、語れない。焼却炉、水道施設など、中に入って見たことがない。</p>             |
| 委員        | ④は「教育環境」ではなく、「環境教育」か。   |
| 事務局       | そうである。  |
| 委員        | 上の 3 つとは違うわけか。上の 3 つを支えるために環境教育が必要になる。  |
| 事務局       | この番号は別に順番ではなく、次第に図があると思う。そのイメージである。   |
| 副会長       | 「生活環境」の括弧の中に「美化、緑化」というのが入っている。公園緑地等は、緑の基本計画があってそこで進行管理をされるということだが、ここで言う「美化、緑化」というのは何か。  |
| 事務局       | 犬・猫等のペットの飼い方とか、ポイ捨て等を防止して市街化されているまちをきれいに保ちましょうということを美化ととらえている。緑化については、先生がおっしゃった通り、緑の基本計画で緑化率等を監視して、緑を増やそうという計画を立てているので、細かい数字はそちらにお任せすることになると思う。ヒートアイランド現象の解消等、気持ち良い緑というのは必要になると思うので、言葉としては含めざるを得ないと言うとおかしいが、触れた方がいいということで掲げている。 |
| 副会長       | つくり出す緑と、守っていく緑の両方が要る。要するに、市民や企業等も含めて関わる緑化という意味か。  |
| 事務局       | そうである。  |

| 議 事 の 経 過 |   |
|-----------|---|
| 発 言 者     | 発 言 の 要 旨   |
| 委員        | 建築のほうにも関係してくるのか。  |
| 事務局       | 関係してくる。会社でも緑地率を厳密に守ってもらわないといけない。1 ha 以上の会社は、緑地率が決められている。  |
| 委員        | 普通の住宅の建蔽率のところは、石でも木でも何でもいいのか。   |
| 事務局       | どちらでもいい。あと、1,000 平米以上の売り場面積を持つ大規模店舗は、緑地率が決められている。駐車場の緑地でも壁面緑化でもいいので、緑地を設置してないといけない。   |
| 委員        | 今おっしゃった住宅の緑地の問題について、個別的なことなので申し上げなかったが、最近特に新しくできる建売住宅にはほとんど緑がない。昔は戸建て住宅にはみんな植栽をしていた。環境問題が世の中で厳しくなっていくのは良いことだが、住宅に植栽をすると、木がはみ出たりして面倒くさいことになるということが減っているのかなと思う。 |
| 委員        | 土地が高いから減っているということではないのか。  |
| 事務局       | おそらく管理の問題である。周りの家が近いと、枝がはみ出たり枯葉が落ちたりして近隣トラブルにもなる場合がある。  |
| 委員        | 私自身は緑があるほうが良いと思って植えているが、だんだん年をとると管理が大変になってくるのは事実。植木屋さんは高い。  |
| 委員        | 10 年前に植えた木が太くなり、道路の見通しが悪くなっている。それで子どもに安全、安全と言っていることが、おかしい。  |
| 事務局       | 結局そこである。環境面から考えると樹木は大きく育ててもらったほうが良いが、生活面から見ると危険になったりする。   |
| 会長        | そういう場合は対処しなければならないが、住宅に緑がないというのは、ひとつは環境教育が必要ではないか。  |
| 委員        | 私のこの2年間のテーマは、環境問題をそれらもひっくるめて、角のため   |

| 議 事 の 経 過 |   |
|-----------|---|
| 発 言 者     | 発 言 の 要 旨   |
| 委員        | に牛を殺すことがないような環境施策というか、それが必要と考える。<br><br>安全・安心の安心よりも、安全が先であることをもっと認識しないといけない。やはり「安全」がないと生活は難しいから、私は大きくなった市街地の樹木は切らなければならないと思う。                         |
| 委員        | 自分の駐車場でも緑地になると思う。   |
| 事務局       | なる。芝生にしてもらう等で結構である。   |
| 委員        | それだったら緑化できる。  |
| 委員        | しかし、その確認はないのか。  |
| 事務局       | 確認はない。住宅にはそこまでの法的な規制はなく、気持ちの問題である。先ほど言った大規模店舗や工場等大きな事業所には規制はあるが、個別にはない。   |
| 委員        | 開発は。  |
| 事務局       | 面積による。大きなマンション等だと緑地は要る。   |
| 副会長       | 先ほど計画の範囲の話で、歴史文化は外すということだったが、「美化、緑化」を入れるのであれば、「景観」というキーワードを入れておいたほうがいいのではないか。   |
| 事務局       | 生活環境のところに「景観」というキーワードを入れたい。   |
| 副会長       | 「美化、緑化」と言うと何か即物的である。「景観」は非常に総合的な環境の質である。典型7公害の時によく言われたのは、公害はなくなったけど環境の質はあまり良くなっていないということである。「景観」という全体の質を評価できる視点は、入れておいたほうが良いと思う。その考え方は、歴史文化とかぶらないと思う。 |
| 事務局       | かぶらない。  |

| 議 事 の 経 過 |  |
|-----------|--|
| 発 言 者     | 発 言 の 要 旨  |
| 会長        | そういうキーワードについては、次の6番の議題になる。   |
| 事務局       | 「自然環境」の中に「海」が抜けており申し訳ない。   |
| 会長        | 6番でキーワード的なことや個別的なことで結構なので、おっしゃっていただきたい。  |
| 委員        | 高砂市は海に近い。水の災害が一番多い。広域性と海に近い特異性というところの環境をどう守るかそれが高砂市の特徴なのかと思う。そのあたりは、加古川市や三木市とも違う環境であると思う。生活環境を守るためには、高砂市は水とどうしても切り離せない。今ある問題や、現状を実際に知らないといけない。   |
| 委員        | 水害の件だが、以前なら雨が降れば、ダンボによく水が溜まったということでした。家が3割で7割が田んぼだったところが、今は逆転して7割が家、3割が田んぼになっている。家が建っても排水路は大きくならない。流す量は前より多くなっているから、浸からざるを得ないという状況なのだと思う。田舎で以前は田んぼだったところがまちになれば、そこで水が出るから、よほど大きな下水管でも持ってこない限り、水害が出て当たり前になっている。 |
| 委員        | 農業者が負担をしてくれているということ。   |
| 会長        | 最近の圃場整備をすると水路は三方コンクリート張りになってしまって、水を流すだけになる。水が集まってしまい下のほうで溢れることになりやすいのではないか。  |
| 委員        | 市役所は海拔1.3mか1.5mぐらいではないのか。  |
| 事務局       | 1.5mである。   |
| 委員        | 300年の間に5～6回、高潮なり津波が高砂のまちに入ってきている。その記録が古い家に残っている。そうすると、60～70年に1回のペースである。もう70年は過ぎた。明日きても仕方がない状況である。高砂が山崎断層の  |



| 議 事 の 経 過 |   |
|-----------|---|
| 発 言 者     | 発 言 の 要 旨   |
| 会長        | <p>起点になっていることをご存知でしょうか。1000年近く前だが、起こった大地震の震源地は高砂だったと言われている。古い文献にも県の資料にも書いてある。何とのんきな生活をしているかという感じがする。私は低い土地、海拔1mのところにいるんだという危機意識がある。</p> <p>ため池や田んぼに貯水機能があり、田んぼ再編ということになると、農業が衰退してなくなってしまう可能性が非常に高い。</p> |
| 委員        | <p>農業従事者は、雨が降ると大雨に備えて水路を切り替えしている。雨水を田んぼに入れている。池も田も大雨になると切り替えて水を入れる作業を行っているのは、池も田も貯水量があるからだ。</p>   |
| 委員        | <p>防災の面からも農業を活性化していかないといけない。</p>  |
| 会長        | <p>防災計画はあるのか。</p>   |
| 事務局       | <p>地域防災計画はあるが、環境基本計画は、景観や自然環境という観点で水田等を守る、水というところに関わっていくことになるのだと思う。</p>   |
| 事務局       | <p>治水や防災は別の計画でと考えていたが、委員の皆さんからのご意見をお聞きして、農業が果たす役割が治水の面からも重要とのことだったので、生活環境と自然環境のどちらにあてはまるかは考えたいが、概念を入れたらいいかと思う。</p>  |
| 会長        | <p>生物にしても、ため池があるとそこに生息する魚や昆虫、水草等がある。農業が衰退してため池がダメになってしまうと、そういうのもなくなってしまう可能性がある。田んぼの環境もカエル等生き物の棲家になっている。そういう意味では、農業とすごく密接に関係している。農業が衰退してしまうと、その自然の環境もかなり変わってしまう。</p>                                     |
| 委員        | <p>都市計画の市街化区域の中に田んぼが加わり、税金が高くなった。負担が重くなった。調整区域の改善も長く言われている。こういうもので、市内の環境が変わると考える。治水も変わってしまう。今はそういう瀬戸際ではないか。税制も含めて、市は農業地を保存するための施策を打って欲しい。何もしないで放っておくのはいけない。農業者の負担ばかり増える。</p>                            |

| 議 事 の 経 過 |  |
|-----------|--|
| 発 言 者     | 発 言 の 要 旨  |
| 委員        | 明石市はそういうふうになりつつある。田んぼを一生懸命作って、とれた米と市役所に納める税金では、税金のほうが高い。だから、誰も作りたくないが、先祖からのものだから作らざるを得ない。何かあったら調整区域ならなかなか売れないが、市街化区域なら埋めてしまって売ったほうがいい。   |
| 事務局       | そのあたりも農業政策で考えていかないといけないと思う。  |
| 会長        | 今後少子化になってどんどん人口が減っていくと、田んぼがなかなか維持できない時代がくるかもしれない。  |
| 事務局       | 農地には保水力・治水力があるということを重々分かってもらって、保全していくべきである。そのあたりも含めた農業政策をしていくべきだと思う。   |
| 副会長       | 特に、市街地の中の生産緑地地区として、全体として市街地の中で上手く生産緑地が残るようにするというのもあるのではないかな。国のほうでも今勉強会をしていると思う。そのあたりは、俎上に乗せても良さそうな気がするが、農地は色々な防災的な利用、或いは教育的な活用もあると思う。  |
| 委員        | 人が心安らぐのは、緑が見ているのと水が流れているのを見る時だと思う。心安らぐまちづくりを考える時に、家ばかりが建っていて公園に木が何本かだけある程度というのではなく、水が流れ、稲穂があるという風景が一番だと思う。日本の原風景が高砂市には失われつつある。一旦埋め立てられてしまった田んぼは、もう二度と元には戻らない。土を触って心が安らぐということ、皆さん欲しがっていると思う。そういうものが残っているような都市景観をつくっていく。ここだけではなく、全部が関わっていかねば無理だと思うが、高砂市の環境基本計画は、ポイントになるところ、例えば水と緑を大切にすまちということ、それを打ち出すとか、それに従って他も動いていくのがいいと思う。農地を持っている方も手放さずにいけるように。私も近所で田をしていないなと思うと、いつの間にか埋め立てられ、家がハイツが建つ状況を見ている。 |
| 委員        | それは無理。田んぼが3枚あれば1枚売らないと税金が払えない。3代続くと農地はなくなる。  |

| 議 事 の 経 過 |  |
|-----------|--|
| 発 言 者     | 発 言 の 要 旨  |
| 事務局       | はっきり言うと国の政策では、高砂市は農業をすところという考えはない。少なくとも4haなければ、食べていけない。  |
| 委員        | それに代わるような、心に安らぎが持てるようなものをつくっていかなければ、高砂は住宅ばかりである。   |
| 委員        | 高砂市の計画人口が下がったと思う。人は少なくなります、これはできない、これもできない、この中で考えてくださいなんて、夢を持てる状況ではない。10万になることを夢見ていたが、一回もならない。何をおいても人口を増やして生活が活性化しないと、まちをどうこうすると言っても、今の人口を養うだけの力が高砂市にはない。人口を増やさなければ、活性化をしなければ。 |
| 委員        | それを言うと、高砂市役所をどこかの市に持って行って、ここを支所にしないと仕方なくなる。  |
| 委員        | 今現在の高砂市の人口は。   |
| 事務局       | 92,000人ぐらいである。   |
| 委員        | こういう計画も全部78,000人ぐらいの計画ではないのか。  |
| 事務局       | 今後はそれぐらいの計画をしていかないといけない。国も1億人維持と言っているので、人口に関しては日本全体で右肩下がりである。  |
| 委員        | 農業委員会に農地転用の書類が提出されて、高砂市で田を宅地化する面積は毎月毎月すごい量である。そんなに田んぼが減っていくのに、まだ人口が下がっていくと、どうなるのか。   |
| 事務局       | 実は、世帯数はほとんど変わっていない。増えているくらい。つまり核家族化している。一人暮らしの方も多くなっている。それはこれとは直接の関係はなさそうだが、少子化に繋がってくる。良いまち高砂として残っていきたいので、良い環境を次の世代に残したいと思う。   |

| 議 事 の 経 過 |  |
|-----------|--|
| 発 言 者     | 発 言 の 要 旨  |
| 事務局       | <p>6 第2次環境基本計画に加えるべき表現・キーワードについて<br/>(川西市環境基本計画概要版を参考に)</p> <p>キーワードについては、資料6を元にイメージをご説明しようと思っていたが、委員の皆様からたくさんご提案いただいて、キーワードを幾つかあげていただいた。あとは、補足でもう少し言い足りないキーワードがあれば、お願いしたい。</p>  |
| 委員        | <p>個人的には、小林委員がおっしゃったような「やすらぎ」とか「緑豊か」とか「うるおいのある」等の言葉を入れたい。県の計画や市の総合計画との整合性を考えて入れていただきたいのは、「資源循環型社会」である。環境と言うと幅広いが、ここ5年ぐらいは一言で言うとそういうことだと思う。5年後はまた違ってきていると思うが。</p>   |
| 会長        | <p>国や県では「低炭素」「循環」「自然共生」だいたいこの3つが多い。</p>  |
| 委員        | <p>この前、一級建築士の方と話していたら、今住宅を設計する時はエコ、エコ、エコだと。そういう時代になったと言っていた。</p>   |
| 委員        | <p>たとえば、最近の家は南北に窓が開いていない。北側は全部塞がれている。息子に建築関係なので聞いたところ、冬は寒いからだと言う。それでは夏に風が通らず暑くなるではないか。西日は入るので暑い。つまり電気をつかっているから快適におれるだけ。生活を一度ストップしてみてもどうかと思う。便利、贅沢ばかりを追い続けてきている。</p> <p>たとえば、出かけるなら自転車、歩くとか。食器を洗うのも合成洗剤を使用せずお湯で洗う、火をつけるのもチャッカマンではなくマッチ、細かいことから行動を考え直すべき。経済面ではお金はまわらないかもしれないが。</p> |
| 委員        | <p>それに関連するかもしれないが、子ども達を教育していくに従って、環境を守るために行動していく、自分からどんな小さなことでもいいから行動する、目を移す市民を育てていくような市になればいいと思う。</p>   |
| 委員        | <p>小学校教育は大事だと思う。紙や缶など、すべて資源になる。ごみとしてしまうからごみになる。子ども会の廃品回収をする、今では街中でも紙の持</p>   |

| 議 事 の 経 過        |  |
|------------------|--|
| 発 言 者            | 発 言 の 要 旨  |
| 委員               | ち込み場所ができている。そこを大人が使用することで教育になる。<br><br>どんなことでもいいから、小さなことでも自分の家では何ができるか、ひとつでも行動に移せるような人を育てていくための運動を広げていくことが、大事だと思う。 |
| 会長               | もし何かあれば、事務局のほうへお願いしたい。   |
| 7 市民意識調査について（説明） |  |
| 事務局              | ○資料「高砂市環境基本計画策定に関するアンケート調査実施概要（案）」に基づき説明   |
| 会長               | 今の説明について、何かご質問、ご意見があればお願いしたい。  |
| 事務局              | 補足だが、結果については次回の策定協議会でお示しして、今日頂いたご意見も加えた上での環境基本計画の大枠をお示ししたいと考えている。  |
| 会長               | よろしいか。それでは本日の会議はこれで終わりたいと思う。<br>事務局からは何かあるか。   |
| 事務局              | 特にない。  |
| 会長               | 長時間にわたりありがとうございました。本日の会議はこれで終了としたい。<br><br>(閉会)  |